

第7回 但馬国際運動会 9/23

但馬国際運動会は、但馬内在住の外国人と市民が、それぞれ異なる文化・習慣や価値観を越え、日本の運動会というスポーツ文化交流により、同じ場所、同じ時間を共有し、さらなる国際理解の推進や相互理解を深めあうことを目的とし、今年で7回目を迎えました。約200人の参加者が集い、さわやかな汗を流しました。

開会式・
選手宣誓



シャープタナカさん
指導のボクササイズ

どっちが
早いかな?!



感想 その1

中国にも運動会がありますが、「国際運動会」は初めての経験でした。いろいろなひとが参加していて、そして、いろいろな競技があり、とても楽しかったです。

宮下 佳奈

(原文)

中国也有运动会,但是对我来说国际运动会还是第一次.来自各国的人参加各种各样的运动,能参加这样的运动会,我觉得非常高兴.

宮下 佳奈

2008 第7回 但馬国際運動会 プログラム

7th Tajima International Sports Day Program

- 12:30 受付開始 (Start Accepting)
- 13:30 開会式 (Opening Ceremony)
競技開始 (Start the games)
- 13:45 準備運動 (Warm-up exercise)
シャープタナカさんによるボクササイズ!
(Instructor: Mr.Sharp TANAKA)
- 14:00 ボーリング (Bowling)
- 14:20 輪投げ (Quoits)
- 14:40 おもちゃ拾い (Kids pick up toys)
- 14:50 パン食い競争 (Bun-snatching race)

～「日高玉ゆりの会」のみなさんによるお手玉芸披露～
(Beanbags performance by HIDAKA TAMAYURI NO KAI)

♪アカペラ披露もあるかも! (♪ A capella performance? ♪)

- 15:15 みんなでドッチビー (Dodge bee)

ドッチビーとは、フリスビーの柔らかいディスクを使って行うドッチボールのことです。(Dodge bee is a dodge ball using a soft Frisbee disc.)

All can participate!

- 15:30 全員参加のビンゴゲーム!!
(Don't miss playing Bingo!!)
- 16:00 閉会式 (Closing Ceremony)

日高玉ゆりの会の
パフォーマンス



お手玉作り
体験(ハハ)

感想 その2

去年と違うスタイルでしたが、とてもよかったです。フリーマーケットがなかったので寂しかったです。各競技とも興味深く、楽しかったです。いろいろなひとと、そして、友達に会うことができてよかったです。

ベン・シル

(原文) I thought the undokai was great, but very different from last year. I missed the 'flea market'. The games were interesting, and fun. It was also good to meet new people and see friends.

Ben Sill

Summer Festivals

2つの豊岡市の歴史的な夏まつり「日高夏祭り」と「柳まつり」に参加しました。

日高夏祭り ～パレード参加～ 7/23

地元では「清正公(せいしょうこう)さん」と親しまれている「日高夏祭り」のパレードに参加しました。民族衣装や人気キャラクターのコスチュームに身を包み、楽しく参加することができました。



いざ、出発!!

●日高夏祭りとは…

江戸時代中期に江原村の日蓮宗立光寺住職が、熱心な日蓮宗の信者であった戦国武将加藤清正公の菩提寺である肥後熊本の本名寺から清正公の木像を1841年に譲り受けお祀りしていました。初めは清正公祭りという名で寺だけで行われていましたが、明治中期ごろから江原村と一緒に行うようになり、昭和28年に江原、宵田、東構、日吉で祭りを統合し、日高夏祭りとなったそうです。

柳まつり ～豊岡おどり参加～ 8/1

おどりの部「審査員特別賞」

初めて豊岡おどりを踊るメンバーもありましたが、お互いに声を掛け合い、次第に気持ちも盛り上がり、協会連の「楽しく踊る」という目的を達成することができ、ステキな賞を受賞することができました。

山車の部「銅賞」

「ぞう」は、動物園やサーカスなど子どもたちにも親しまれ、また、インドでは特に白い象は「神の生まれかわり」とも言われています。日本でも昔から「ありがたいもの」とか「神の使いもの」として知られています。今回のモチーフは、スタッフがそのアイデアを大切に温めてきたもので、おどりに参加しているひとや沿道で声援を送ってくれるひとに「幸せを運びたい」という願いを込めました。そんな願いを込めた山車で銅賞を受賞することができて、感無量の豊岡おどり参加になりました。



楽しかったね♪



山車のぞうと怪しげなふたり

おめでとう!!

●柳まつりとは…

毎年8月1、2日に行われ、特産業「杞柳・かばん産業」の守護神として祀られる柳の宮のまつりです。豊岡おどりでは、子どもや大人の連がおどりを楽しみ、趣向を凝らした各連の山車が沿道のひとを喜ばせます。

7/26 アフタヌーンティーパーティー

イギリス編



おうちでできる!!

イギリス出身のエリカを迎え、プレーンスコーンとチーズスコーンを作りました。イギリスでアフタヌーンティーが始まった理由のひとつに単に紅茶を飲むだけでなく、女性向けの社交の場の機会とされていたようです。私たちも午後の交流を楽しみました!!



① 生地作り(^^)



② こんな感じで生地を練りましょう!!



③ オープンで焼いたら完成!!



出来上がり(^^)

外国語講座

夏休み子ども英会話教室(豊岡・日高)

夏休みを利用して、子どもたちに英会話を学んでもらう機会を提供しました。歌を歌ったり、ゲームをしたり、身体を動かして、英語を身につけました。

What's this?
(豊岡開催分)



英会話クラス&中国語クラス(豊岡・日高)

豊岡支部では、英会話クラスと中国語クラス、日高支部では、英会話クラスを開催しました。



授業の様子
(日高開催分)

Tia'sあみごすの活動

Tia アカペラ教室は、講師と受講生という形態をとらず、みんなで教室の運営を図り、アカペラという音楽・国際言語を通して、相互理解や交流、友情を深める場として楽しんでいます。興味がある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。一緒にハモりましょう!!

第6回 アカペリンピック大会出場 8/30

今回は、ジョン・デンバーの「Country Road, Take Me Home」という歌を選曲、「ふるさと」に込められている思いを届けられるよう練習に励み、大会に参加しました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、メンバーが同じ時間を共有できたことに感謝する1日になりました。



本番前の練習～



The breeze of Be in Voices コンサート鑑賞 9/7

Tia'sあみごすのメンバーが、豊岡市市民芸術文化招聘事業「The breeze of Be in Voices」アカペラコンサートを鑑賞しました。当日の観客とのアカペラは、たいへん印象的で、Tia'sあみごすのメンバーは勉強することがたくさんあり、たいへん有意義なコンサート鑑賞になりました。



ビー イン ヴォイス
●Be in Voicesとは…
過去のアカペリンピック大会で審査員を務め、市民会館で開催されたアカペラ指導、また、今年の成人式にも来豊しているグループ。

第7回 但馬国際運動会出演 9/23



第7回但馬国際運動会の開会式で、アカペラ風にアレンジされた「豊岡市歌」と第6回アカペリンピック大会で歌った「Country Road, Take Me Home」を披露しました。

9/19 Welcome Party

新しいTiaの仲間を紹介するウエルカムパーティーに80名以上の仲間が集まりました。自己紹介ビンゴゲームでは、それぞれの名前や出身国などを紹介し、友だち作りをしました。もちろん、手作りのご馳走も揃い、楽しいパーティーになりました。



それぞれに自己紹介



感想

私が最初に参加したイベントはTiaウエルカムパーティーでした。私は、他のALTより遅く来日したこともあり、この地域のひとにお会いできることを強く願っていました。パーティーはとても楽しかったです。みなさんは、親切で、私を温かく迎え、新しいコミュニティの中で、くつろげるようにしてくれました。手作りの料理もとてもおいしかったです。とても楽しい夜を過ごすことができました。これからTiaで開催されるイベントを楽しみにしています。

ヴァレリー・サバリア

(原文) Tia's welcome party was the first event that I attended. I arrived in Japan later than everybody else, and I was very eager to meet with other people from the area. The party was a lot of fun! People were kind and welcoming, and they really helped me feel at home in my new community. Plus, the food the participants had cooked was delicious! I had a very pleasant night and I am looking forward to other Tia events!

Valerie Savaria



自己紹介ビンゴゲーム

9/21

Let's play together ~世界のあそび~

中国編

中国出身のカイシュンを迎え、中国の遊びを紹介してもらいました。

ワシと小鳥

10人くらいのグループで行う。一列に並び、先頭のひとがワシ役、最後尾のひとが小鳥になる。先頭のワシは、最後尾の小鳥を捕まえるゲーム。



私がワシ??

ピン・パン・チョ

卓球のラケットとボールを使った遊び。ラケットの上にボールをのせ、だれが上手に運べるか競うもの。

上手、上手!!



息できない!



手遊び

片手ずつ違う動作をする。例えば、片手はももをたたく、片手はももをさする。この動作を同時に行い、「ホアン」という号令で手をかえる。片手は、前回し、もう一方は反対回しなど。



できな〜い!!



どっちが、どっち??

10/4

International Cooking Class

in 出石

出石に住む、フィリピン出身の井上マイリンさん、中国出身の松本雪子さん、杉本路美^{るみ}さんを講師に迎え、フィリピンの焼きピーフン、中国の肉まん^{るみ}と水餃子を習いました。焼きピーフンは、鶏肉やレバー、にんじん・たまねぎ・キャベツなど野菜もたくさん入り、ボリューム満点です。肉まん・水餃子は、中国の家庭では当たり前のことですが、皮からつくりました。捏ねるまでは見よう見まねでできるものの、丸く伸ばすのは至難の業で「チョーむずかしい」体験でした。茹でたて、蒸したて、出来たてをみんなで会食し、楽しいひと時に故郷の思い出や今の生活の楽しさを聞きながらおいしい料理に舌鼓を打ちました。



講師紹介

みんなで
楽しく会食こんな
感じで

Tia日本語教室

日本語教育アドバイザー派遣事業

10/11

在住外国人の増加に伴う日本語学習へのニーズの多様化や、震災を契機としたボランティア活動の高まりに伴い、ボランティアで日本語を教える人（日本語ボランティア）やその希望者が増えてきています。こうした日本語ボランティアの方々による日本語教育の取り組みを支援するため、また、増加傾向にある外国人の方々の多様なニーズに応えるため、日本語教育の専門家を（財）兵庫県国際交流協会からアドバイザーとして派遣してもらい、日本語教育に関する相談をすると共に「みんなの日本語初級Ⅱ」のスキルアップを図りました。



●講師：（財）兵庫県国際交流協会
日本語登録教師 三木由里子先生

派遣事業
の様子

平成20年度日本語教育ボランティア養成講座 第1回目

10/18 ▶ 12/13

在住外国人が増加傾向にあり、日本語学習支援の必要性が高まっています。こうした状況のもと、外国語として「日本語」を教えるボランティア支援者を養成し、また、日本語を外国人に教える活動によって国際交流を促進するため「平成20年度日本語教育ボランティア養成講座」を開催しています。

この講座では、「聞く」・「話す」力を伸ばしながら、媒介語（日本語以外の言語）を使わずに初級レベルの日本語文法を習得させる教え方を、実習を交えながら学びます。

◎兵庫県の現状を知ろう。 また、日本語教育（支援）とは？

（財）兵庫県国際交流協会 日本語教育指導員 酒井滋子先生から兵庫県在住外国人（外国人県民）の現状説明や日本語教育（支援）についての話がありました。



◎日本語の発音と表記

（財）兵庫県国際交流協会 日本語登録教師 石井真未枝先生から日本語の発音と表記などについての話がありました。



◎新たな外国語を 学んでみよう!!

日本語を教える前に外国語をはじめて勉強する学習者の気持ちを知るため、養成講座受講者も実際に外国語を学びました。講師は、出身国を伏せたまま、日本語も文字も使わず、自分の母語だけで指導しました。養成講座受講者からは「なかなか聞き取れない」「同じように言えない」などの感想があり、改めて外国語を学ぶ難しさを実感しました。また、講師3人から「外国語として日本語を学んで」について意見発表がありました。

授業の内容

- ①「はじめまして。私は（名前）です。どうぞよろしくお願いします」を一人ひとり言うようにする。
- ②物の名前をいくつか覚える。
- ③②で覚えた物を使って「これは～です」が言えるようにする。
- ④次に「それは～です」を練習し、「これ」と「それ」の使い分けを練習する。

◎豊岡市在住外国人の現状と Tia日本語教室の紹介



豊岡市国際交流協会のボランティアスタッフ 勝間良枝さんからTia日本語教室の現状説明がありました。



デジエ（フィリピン出身）による「タガログ語」指導の様子



ミム（タイ出身）による「タイ語」指導の様子



オリガ（ロシア出身）による「ロシア語」指導の様子



世界探検
セミナー

カナダ編

10/26

カナダ出身のヴァレリーを迎え、フランスやイギリスの探検家が新しい土地・カナダを求めてやってきたころのことやその両国の戦い、また、特にヴァレリー出身のケベック州では、どうしてフランス語が公用語になっているのか（言語法 Bill 101）など、たくさんのことに探検し、有意義な時間を過ごしました。中国出身の参加者からは「もっと話を聞きたい」と連絡先を交換する場面もあり、日本にいてから日本のことだけを学ぶのではなく、いろいろな国のこと、その国の文化や歴史を学ぶ機会にもなりました。



カナダを
探検中（^^）

モンゴル国とは、隔年に但東町より友好訪問使節団の派遣、モンゴル国から中学生を中心として研修生の受け入れを行っており、但東地域住民や子どもたちとの交流を10年余りにわたり継続してきました。本年は、中学生をはじめとする使節団(10名)を派遣し、モンゴルの自然環境や人々の暮らし、文化などを体験することにより、自らの生活等を見つめ直す契機とし、更なる国際感覚を身につけると共に、培われてきたモンゴル国との交流をさらに発展させることを目的としています。

モンゴルに行って思うこと

僕はモンゴルに行ってたくさんのことを体験することができました。その中からいくつか例をあげてみます。



1つ目に、ウランバートルでの生活です。さすが首都というだけあって都会でした。高層ビルはなかったけれど、ホテルやマンション、デパートなどが立ち並んでいました。その中でホテルとホームステイとで4泊過ごしました。



ホームステイ家族の人達は気を遣って日本の料理を作ってくれたり、とても親切でした。それに「ザエサン」の丘」という所にもつれていってくれました。高い場所から見るウランバートルの景色は、あちこちが光っていて美しかったです。

2つ目にゲルです。ウランバートルからバスにゆられて約5時間。遠く離れた草原にゲルが見えて、あれに泊まると聞いた時は少し驚きました。バスから降りると、そこは別世界でした。周りには草原があって障害物がほとんどなく、360度見渡せました。あまりの絶景に圧倒され、そして感動しました。昼は暑く、夜は寒い。その通りでした。日中は日差しが強くてたまらないのに比べ、夜は夏なのに10度以下に冷え込むという温度差がありました。日本では考えられない気候でした。

ゲルでの食べ物と云ったらやはり羊です。目の前で解体を見せてもらいました。血がほとんど出ずに解体されていました。そして羊を食べる時が



但東中学校3年生 大石 達也

やってきました。血から肺やら、すべてを食べました。食べたことのない味や食感でした。そして、ヤギのミルクも印象的でした。牛乳より味が濃く、おいしかったです。



3つ目にモンゴルの人達との交流です。ホームステイのひともゲルのひとも皆親切でした。そして、現地の子ども達とも仲良く過ごすことができました。使う言葉は違うけれど、お互いに分かり合うことができることをこの旅で知りました。

この旅では、本当にたくさんのことを体験することができました。いろいろな物を食べたり、きれいな場所を見たりと。でも、その中で忘れてはいけないのが、人との出会い、感謝だと思います。モンゴル人にはいろいろな場面で助けてもらいました。そのおかげでこんな良い旅ができました。本当に楽しかったです。だから、僕はもう一度モンゴルに行って、今回の旅でお世話になった人達に会い、感謝を示したいと思います。



ウィットマン中学校との交流事業に当たって

生徒代表 本田 千晶

今年で正式調印して10年目という節目を向かえたウィットマン中との交流事業です。私達は豊岡市の中学生の代表であるということを自覚し、ウィットマン中との交流をより深めていきたいと思います。生の英語を耳で聞き、肌で感じ、積極的に行動していきたいです。そしてこの交流を通して、お互いの文化の良さを見つけ、尊重し合えたらいいなと思います。また言葉のハンディはありますが、乗り越え新しい自分を見つけられたらいいなと思います。今回の交流事業の目標でもある「感謝、国際理解そしてチャレンジ!」を忘れず、悔いの残らない交流をしてきます。この事業に参加させていただくにあたって、多くの方々のご協力を得ていることに感謝しながら、このチャンスを生かし、友達の輪を広げていきたいです。そして将来の自分に何か役に立つものを学んできたいです。

9月18日(木)



出石総合支所に集合し、結団式を行いました。多数の見送りを受け、アメリカ・シアトルへ出発しました。飛行機の中では、辞書を出したりしながら、おしゃべりに花が咲きました。

9月20日(土)・21日(日)



この2日間は、ホストファミリーと過ごしました。Pike Place Market、アメリカンフットボールの試合観戦、遊園地、ハイキングなどいろいろなところに連れて行ってもらいました。

9月19日(金)

ホストファミリーとウィットマン中学校に登校し、午前8時から歓迎会がありました。学校紹介、日本舞踊、空手の演技を披露しました。歓迎会后、ホストファミリー生徒と授業に参加しました。



Hello♪

音楽の授業参加



日舞を披露



空手を披露



9月22日(月)

1時間授業を受けた後、ホストファミリー生徒とスペース・ニードルなどの観光にでかけました。ほとんどの生徒が、Safeco Fieldでマリナーズの試合を観戦しました。



移動中のスクールバスで

9月23日(火)・24日(水)

早朝5時、ウィットマン中学校に集合、日本に向けて出発しました。大変だったこともあるけれど、たくさんのことを学ぶことができました。

午後3時20分、関西国際空港に到着。解団式では、出迎えてくれた先生他に感謝の気持ちを伝え、元気に帰ったことを報告しました。



たのし〜い♪

7/12
7/13

The 5th Annual Tajima Ultimate Frisbee Tournament

第5回但馬アルティメットフリスビー大会が開催されました。地元の協力もあり、今年も300人以上の参加がありました。



10/21

デイヴィッド来豊

アメリカ出身のデイヴィッド(旧豊岡実業高校 元ALT'98-'01)が、7年ぶりに来豊しました。当時、お世話になった先生と交流を深めたり、日本語教室の先生に再会したりしました。帰国後、日本語能力試験1級に合格、3年前にはATA(American Translators Association/アメリカ翻訳協会)の免許を取得し、現在はフリーで和英の翻訳家として活躍しているそうです。



久しぶり!



懐かしいねぇ

— information —

●クリスマスパーティー

Tia恒例のクリスマスパーティー! 今年も一緒に楽しみませんか? ぜひ、ご参加ください。

(1) 子どものパーティー(豊岡支部)

- と き 12月14日(日) 午後6時30分
- ところ 豊岡市民プラザ ほっとステージ(アイティ7階)
- 参加費 小学生以上500円(幼稚園以下無料)
保護者1,000円
- 内 容 ゲーム、プレゼント交換他
*お子さんは、各自500円程度のプレゼントを持ってきてください。
- 服 装 自由。今年もオリジナルコスチューム大賞を決定します。おしゃれをしてきてね!
- 申込み 12月8日(月)までに必要事項(郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、学校・園名、連絡先)を明記の上、ハガキ・ファックス・メールで事務局までご連絡ください。

*当日、午後3時から会場のセッティングを行います。お手伝いいただける方は事務局までご連絡ください。

(2) 一般のパーティー(豊岡支部)

- と き 12月5日(金) 午後6時30分~
- ところ 豊岡市民プラザ 練習室A(アイティ7階)
- 参加費 無料(持ち寄りパーティー形式)
*自慢の料理(3~4人分)又はドリンクを持ってきてください。
- 服 装 自由

(3) クリスマスパーティー(日高支部)

- と き 12月13日(土) 午後6時~8時
- ところ 日高農村環境改善センター 多目的ホール
- 参加費 小学生以上300円(幼稚園以下無料)
非会員500円(持ち寄りパーティー形式)
- 内 容 ゲーム、プレゼント交換など
*各自500円程度のプレゼントを持参してください。
- 申込期限 12月12日(金)

●モンゴル高校生受入

「21世紀東アジア青少年大交流計画第2弾」11/14~11/16

政府が実施する「21世紀東アジア青少年大交流計画第2弾」において、豊岡市では、モンゴルの高校生25名を受け入れます。滞在中は、日本・モンゴル博物館やコウノトリ文化館を視察する予定です。協会では、日本の家庭や文化を体験してもらうため、ホームステイに協力する予定です。

●Tiaリビングガイド更新

在住の外国の方々への生活をサポートするための「リビングガイド(英語版)」の一部内容をリニューアルしました。また、「緊急ガイドブック(英語版・中国語版)」は、災害時の心構えなどを説明するものです。必要な方は、事務局までご連絡ください。



新任のALTに説明

編集後記

スポーツに文化に食欲に絶好の季節になって来ました。国際運動会を終えるなど協会事業も一息ついていますが、モンゴルからの高校生を迎える交流事業や地域でのTiaサロンなど結構、予定も詰まっています。中学生のモンゴル・ウィットマン中学校交流訪問団も無事帰国し、その成果をいろいろなところで発揮してくれています。異文化に接することは、自分の中にある当たり前のことが当たり前でないことに気づかされたり、国が違ふと考え方も大きく変わることがわかってきます。外国では自分の国や町の話をする機会も結構ありますが、ばつの悪い思いをすることもありがちで、日ごろから地域の歴史や動きを知っておくことも大事なことです。海外からの居住者も多くなっている今では、地域で交流する機会も増えています。外にでる交流も大事なことです。身近な地域でできる交流は、もっと大切なことではないかと感じています。国際交流協会がその一助となり、交流の輪が大きく広がるようがんばりますので事業への参加お待ちしております。(T.I)